

J A 全農ちば

営農情報集

2023.

10

【今月の情報】

1. 園芸野菜 病虫害防除情報
2. 果樹（ナシ） 病虫害防除情報
3. 安全な農作物生産の取り組みについて
～農薬散布機は毎回洗浄しましょう～
4. 第48回 農業機械大展示会
営農支援ブースの紹介

【今月の気象（気象庁9/30発表 1か月予報より）】

引き続き10月も全体を通して気温が高い予報です。病虫害が発生しやすい条件のため、早期防除を実施しましょう。また、台風の発生時期でもあるため、施設の補修や補強資材の準備等の対策を早めに行いましょう。

【気温】



【降水量】



【日照時間】



■ : 低い ■ : 平常並み ■ : 高い

JA 全農では農業施設の台風対策・パイプハウスの建て方動画などを公開しています。アピネスアグリインフォ自然災害対策をご参照ください。

HP : <https://www.agri.zenoh.or.jp/N_index.aspx>または「アピネス」で検索Q

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば 営農支援部

1. はじめに

10月は気温が高く、日照は少なくなる予報です（9月末時点）。害虫も病害も発生しやすい環境になりますので、圃場を注意深く観察し、早期防除を行いましょ。う。

また、台風が発生・接近が多くなることも予想されます。気象予報に留意して事前対策を心がけましょ。う。

2. トマト（コナジラミ類・葉かび病・すすかび病）

（1）コナジラミ類

県内では、オンシツコナジラミ、タバココナジラミが発生します。これらは共通して黄化病ウイルス（ToCV）を、タバココナジラミは黄化葉巻病ウイルス（TYLCV）を媒介します。千葉県による病害虫発生予報第6号（令和5年9月13日発表）では、これら両種および黄化葉巻病の今後の予想発生量が「多」となっています。早めの防除を行いましょ。う。



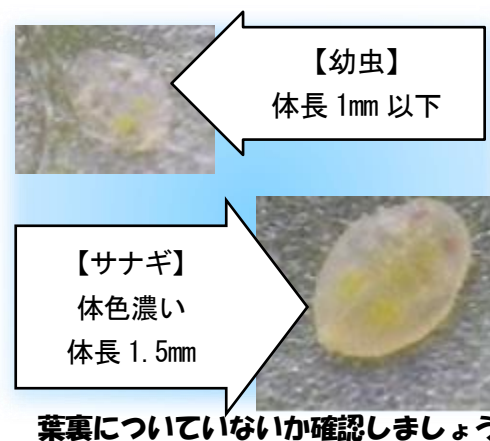
タバココナジラミ成虫

○薬剤使用時のポイント

ア、コナジラミ類は主に葉裏に寄生しています。葉裏にも薬剤がかかるよう散布ましょ。う。

イ、白い成虫が目につく高さを飛んでいて気が付くことが多いですが、寄生は下葉から始まります。かがんで下葉を返し右のような幼虫・サナギが見つかった場合は、すぐに防除を実施ましょ。う。

ウ、同系統薬剤の連用は避けましょ。う。



【幼虫】
体長 1mm 以下

【サナギ】
体色濃い
体長 1.5mm

葉裏についていないか確認ましょ。う

○トマト コナジラミ類 防除薬剤

| 薬剤系統 | IRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 |
|-----------------------|------|---------------|-----------|------------|------|
| マコライト [®] 系 | 6 | アフーム乳剤 | 2000 | 収穫前日 まで | 5回以内 |
| | | アグリメック | 500~1000 | | 3回以内 |
| 材コチノイト [®] 系 | 4A | ベストガード水溶剤 | 1000~2000 | | 3回以内 |
| スピノシン [®] 系 | 5 | ディアナSC | 2500 | | 2回以内 |
| ジアミド系 | 28 | ベネビアOD※ | 2000 | | 3回以内 |
| メゾアミド [®] 系 | 30 | グレーシア乳剤 | 2000 | | 2回以内 |
| その他① | 9B | コルト顆粒水和剤 | 4000 | | 3回以内 |
| その他② | 4C | トランスフォームフロアブル | 1000~2000 | | 2回以内 |

※薬害の可能性があるのでアミスター等のQoI剤との混用・隣接散布は避ける

(2) 葉かび病・すすかび病

湿度が高い状態が続くと、これらの病害が発生しやすくなります。病原菌の感染から発病までは14日程度かかるため、下葉の発病が見られたら数段上の葉まで感染している恐れがあります。すでに発生が見られる場合は治療剤を加えたローテーション防除を行い、同時に下葉かき等による株元の通風を図りましょう。



すすかび病の病斑

○トマト 葉かび病・すすかび病 防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数※ | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|--------------|------|--------------|-------|------------|------|-------|
| 葉かび・ すすかび | M7 | ベルコートフロアブル | 2000 | 収穫前日 まで | 3回以内 | 予防 |
| | 7 | アフェットフロアブル | 2000 | | 3回以内 | 予防 |
| | 3 | トリフミン水和剤 | 3000 | | 5回以内 | 予防・治療 |
| 葉かび | 11 | ファンタジスタ顆粒水和剤 | 2000 | | 3回以内 | 予防・治療 |
| | | アミスター20フロアブル | 2000 | | 4回以内 | 予防・治療 |
| 葉かび・ すすかび | 7+11 | シグナムWDG | 2000 | | 2回以内 | 予防・治療 |

3. キャベツ(菌核病)

菌核病は、結球はじめの頃、地面に近い下葉の基部に水浸状病斑を出しながらおられます。病斑はやがて結球に進展し、全体が柔らかくなります。発病部には写真のような白いかびを生じることがあります。秋雨の時期に発病が増えるため、**10月は重要な防除時期**です。薬剤散布は、葉裏(株元)付近にも薬液がかかるよう丁寧に行いましょう。



菌核病の病斑

○キャベツ 菌核病 防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 ※ | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|------|------|--------------|-----------|---------|------|-------|
| 菌核病 | 12 | セイビアーフロアブル20 | 1000 | 収穫前日まで | 3回以内 | 予防 |
| | 2 | ロブラール水和剤 | 1000 | 収穫7日前まで | 4回以内 | 予防・治療 |
| | 11 | ファンタジスタ顆粒水和剤 | 2000 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 予防・治療 |

4. ネギ(さび病・べと病・黒斑病)

病害は多湿条件を好むため、降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ剤を使用しましょう。また、夜間にもや・霧が発生する時期は病害多発の恐れが高まります。**天候に留意しながら防除**を行いましょう。

(1) さび病

オレンジ色の隆起した斑点が生じます。一度発生してからでは防除が困難な病害のため、予防主体の防除を行い、病斑が見られたら直ちに治療剤の散布に切り替えましょう。

(2) べと病

葉身が黄色くぼやけ、表面にはやがて灰暗色のカビが見られます。さらに進展すると、被害部から葉が折れてしまいます。多湿圃場では被害の急拡大に注意が必要です。



さび病の病斑



べと病の初期病斑

(3) 黒斑病

葉身に輪紋状の黒色病斑が生じ、やがて被害部から葉が折れてしまします。多湿環境のほか、樹勢が低下すると発生が助長されます。



黒斑病の病斑

○ネギ さび病：さ・べと病：べ・黒斑病：黒 防除薬剤

| 対象病害 | FRAC | 薬剤名 | 希釈倍数 ※ | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|--|-------|--------------|-----------|------------|-------|-------|
| べ | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 1000 | 収穫 14 日前まで | 3 回以内 | 予防・治療 |
| | 4+M3 | リドミルゴールドMZ | 1000 | 収穫 14 日前まで | 3 回以内 | 予防・治療 |
| さ ・ べ ・ 黒 | 11 | メジャーフロアブル | 2000 | 収穫前日まで | 3 回以内 | 予防・治療 |
| | | アミスター20フロアブル | 2000 | 収穫 3 日前まで | 4 回以内 | 予防・治療 |
| さ ・ 黒 | M7 | ベルコート水和剤 | 2000 | 収穫 30 日前まで | 3 回以内 | 予防 |
| | 3 | オンリーワンフロアブル | 1000 | 収穫 14 日前まで | 3 回以内 | 予防・治療 |
| 黒 | 2 | ロブラール水和剤 | 1000 | 収穫 14 日前まで | 3 回以内 | 予防・治療 |

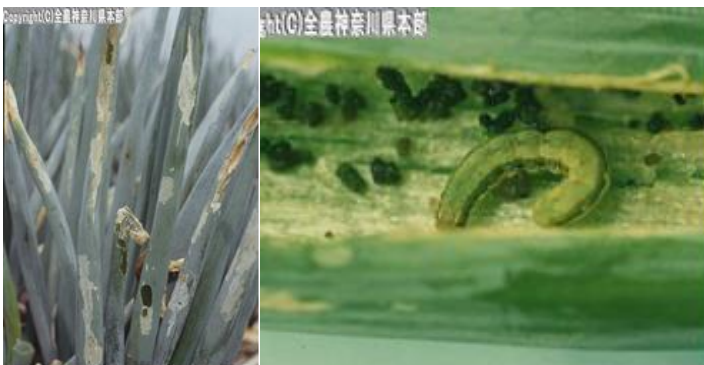
5. 露地野菜(ヨトウムシ類)

ヨトウムシやハスモンヨトウは卵を1か所に200~300個の卵塊で産卵します。孵化した幼虫は、成長するにつれて食害量が増えるため、被害が急速に大きくなります。また、露地作物では生長点を食害されると欠株となってしまうため、特に早期防除が重要な害虫です。

○ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ 防除薬剤

| 薬剤系統 (IRACコード) | 薬剤名 | 登録の有無 | | |
|----------------|------------|-------|------|----|
| | | キャベツ | ダイコン | ネギ |
| ジアミド系 (28) | プレバソフロアブル5 | ○ | ○ | ○ |
| | ベネビアOD | ○ | ○ | ○ |
| マクロライド系 (6) | アフーム乳剤 | ○ | | ○ |
| | アニキ乳剤 | ○ | | ○ |
| スピノシン系 (5) | ディアナSC | ○ | ○ | ○ |
| ピロール系 (13) | コテツフロアブル | ○ | | ○ |
| I GR剤 (15) | カスケード乳剤 | ○ | | ○ |
| メタジアミド系 (30) | グレーシア乳剤 | ○ | | ○ |
| | ブロフレアSC | ○ | ○ | ○ |
| その他① (UN) | プレオフロアブル | ○ | ○ | ○ |
| その他② (22A) | トルネードエースDF | ○ | ○ | ○ |
| その他③ (22B) | アクセルフロアブル | ○ | ○ | ○ |

【注意！】本表は対象病害虫への適用の有無を示したものです。他の害虫に適用のある薬剤もあるため、希釈倍数や使用時期、使用回数等の詳細な登録内容は、必ず使用前に最新情報を確認しましょう。



ネギのシロイチモジヨトウ被害と幼虫



キャベツのハスモンヨトウ幼虫

果樹(ナシ)病害虫防除情報

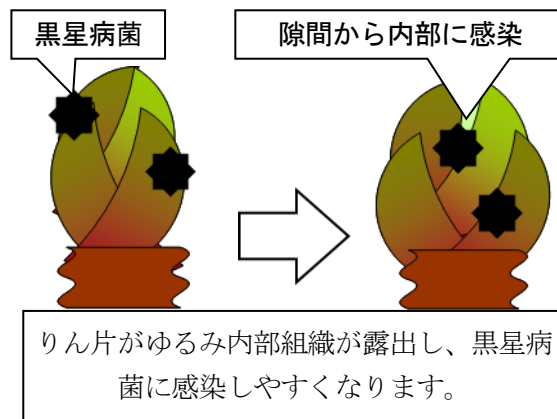
JA全農ちば
営農支援部

1. はじめに

黒星病は年間を通じた防除が非常に重要な病害です。今秋に残っている黒星病菌は次年度の発生源となりますので、以下の秋防除を徹底しましょう。

2. 秋防除の目的

花芽は9月～12月上旬にかけて、枝の上方から徐々にりん片がゆるみます。降雨があると、葉に残った黒星病菌が雨とともに枝を伝い、ゆるんだ芽に侵入します。ゆるみがピークとなる10月中旬～11月中旬は特に感染しやすい時期となるため、薬剤を散布して感染を防ぎます。



3. 秋防除のポイント

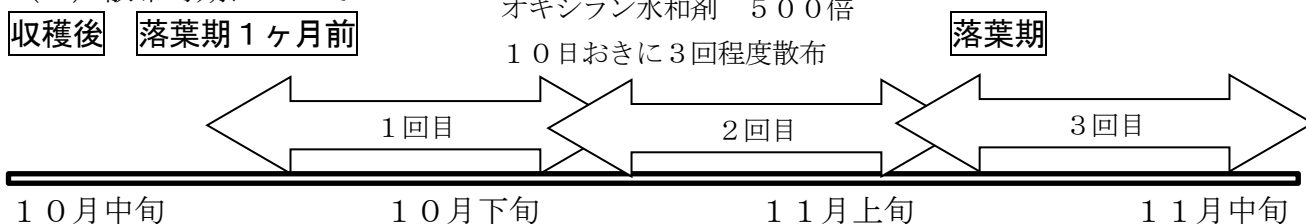
(1) 落葉期1か月前～落葉期(10月中旬～11月上旬)に10日間隔で2～3回、オキシラン水和剤500倍(収穫3日前/9回以内)を散布して、りん片への黒星病菌の感染を防ぎましょう。

※落葉期の目安は全体の8割が落ちるまでです。

(2) 散布量は350L/10aを目安に、徒長枝に薬液が十分かかるようにしましょう。

※展着剤アビオンE(2000倍)を加用すると耐雨性を高める効果があります。

(3) 散布時期について



4. 落葉処理 落葉は黒星病の伝染源です！園周辺の落葉も処理しましょう！

落葉を集めて焼却するか土中に埋めます(孢子の飛散を防止)。ただし、炭そ病は土中に埋めても防除にはなりませんので、炭そ病発生園では確実に持ち出す必要があります。園の外周とネット下部にも落葉が溜まっています、熊手等で集めて処分しましょう。



安全な農作物生産の取り組みについて

～農薬散布機は毎回洗浄しましょう～

J A全農ちば 営農支援部

1. はじめに

農薬残留基準超過の原因として適用外使用（作物登録なし）や周辺圃場または同一ハウス内隣接作物からのドリフト、使用基準違反（使用時期、使用回数、使用方法）、**農薬散布機・タンク・ホースの洗浄不足・不洗浄**などが事例として多く挙げられます。今回は、農薬散布機の洗浄について紹介します。

2. 農薬散布機洗浄の重要性

一般的に農薬散布機は複数の作物に使用されます。農薬散布後の洗浄が不十分だと、散布機内に微量の農薬が残ってしまい、次回別の作物に農薬を散布した際に予期していない適用外の作物にかかってしまう恐れがあります。農薬はごく微量でも適用外の作物に散布した場合、残留農薬が基準値を超過するリスクが非常に高くなります。**農薬残留基準超過は食品衛生法違反です。最悪の場合、農産物の出荷停止や回収に繋がりますので、農薬散布機の洗浄は使用の都度行いましょう！！**

3. 農薬散布機の洗浄のしかた

<セット動噴の場合>

①タンク内の洗浄



水を溜めてよく揺する！

②ストレーナーの洗浄



目詰まりが無いかよく確認！

③ホース内の洗浄



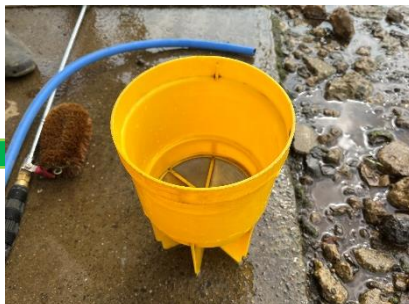
3回以上通水！

<背負い動噴の場合>

①タンク内の洗浄



②フィルターの洗浄



③ホース内・ノズルの洗浄



農薬散布後は必ず洗浄しましょう！！



第48回 農業機械大展示会

営農支援ブースのご紹介

JA全農ちば 営農支援部

10月19日(木)～10月21日(土)に長柄町ロングウッドステーションにて「JAグループ千葉 農業機械大展示会」を開催します。

営農支援ブースも開設しますので、ご来場の際は、ぜひお立ち寄りください。



(第47回農業機械大展示会の様子)

【営農支援ブースの主な展示内容】

○スマート農業ツール

- ・営農管理システム「Z-GIS」
 - ・栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」
- 紹介ブースではデモ機にて実際の操作を体感できます！

○水稻省力・低コスト技術

- ・水稻鉄コーティング湛水直播栽培
- ・「リゾケア」(水稻直播コーティング技術)

○水稻育苗ハウスや遊休ハウスの有効活用

- ・「ういずOne」(専用発砲スチール箱を使った養液栽培システム)を使用したミニトマト「アンジェレ」の栽培実証圃の取組み

○優良種苗生産・供給の取組み

- ・「さつまいも」「いちご」の新品種の紹介

○土壌分析・適正施肥

- ・土壌分析・結果をもとにした適正施肥のススメ
- ・簡易土壌分析ツール「スマートみどりくん」の実演

○食の安心・安全

- ・安全な農産物生産の取組み

○IPM(総合的病虫害防除)

- ・バンカーシートなどの天敵資材について

